

思い出写真を お返ししたい



4月30日、被災地のがれきの中から探し出した「思い出の写真」、ぬるま湯に浸して、泥を落とし、陰干にした写真を一杯持参して、大船渡中学校体育館の避難場所に展示して、皆に見て頂いた。

約50人の方々にアルバムなど写真を渡しすることが出来た。

北笹崎で被災した及川ゆき子さんは、踊りの仲間の写真があり、感激です。また、増子ワカ子さんは、30才頃に

写した写真があった。甥の写真を見つけない。また、展示に訪問する約束をして帰った。

炊き出し食材提供 東京の「デリカフーズ」さん

4月の炊き出しの食材を提供してくれたのは、東京のデリカフーズさんでした。愛知ネットの手配にて多くの企業から、色々のご支援を受け、本当に頭の下がる思いです。

提供された食材は、カレーライス、カレーうどん、シチュー、トン汁等々を調理して、温かい食事を提供することが出来、多くの方々に喜んで頂いた。



「コープあいち」から 食器セット200組贈呈

し行った際、避難者約120名の食器がないとの話を聴き、愛知ネットの手配にて、「コープあいち」さんからお椀、汁椀、皿、お箸等のセットが、愛知ネットの天野理事長から、避難所本部長の金野さんへ渡された。



4月30日の炊き出しは「マーボードーフ」

津波記念に おおやま桜を植樹



三陸町 若萌の会

三陸町越喜来の「若萌の会」（前田武会長）は、4月29日三陸町越喜来の三陸鉄道三陸駅の近くへ、巨大津波を忘れないように、おおやま桜1本を植えた。

会員の中には行方不明者もあり、また、目の前ではガレキ整理作業も行われて、集まった方々の心は複雑であったが、復興への一歩にしたいとの決意の植樹であった。



事務所での写真の修復作業



4月30日、神奈川県防災ボランティアネットワークの方々や大船渡市出身の方の協力にて、写真の修復作業を行った。

午後2時半から、写真展示して持ち主へ返す作業から帰った方々と一緒に、今日の作業の反省をした。「30代の写真が見つかった」と喜んで頂いた話など、写真を見つけた人たちの反応等が報告さ

れ、修復作業が活着ていることを実感できた。今日のボランティアが役に立ったことを知った。

5月1日は、大船渡地区公民館で写真を展示し、一杯見つけた人があり、感激して頂いた。

